

第3期旭市総合戦略策定のための
事業所アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月

旭市

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 調査結果の見方について	1
II. 調査結果	2
1. 基本属性	2
2. 経営動向（業況）について	3
3. 経営課題について	4
4. 行政に対して希望する支援策について	5
5. 人材確保・雇用維持・働き方改革への取組状況について	6
(1) 人材育成・雇用維持や働き方改革のために取り組んでいる方策	6
(2) 人材確保・雇用維持や働き方改革のために今後取り組みたい方策	7
(3) 従業員の雇用を増やす予定・可能性	8
(4) 雇用を増やすために必要なこと	9
(5) 雇用を増やす場合に求める人材	10
(6) 雇用したい地域	11
6. 地域課題解決への取組状況について	12
(1) 現在取り組んでいる地域課題	12
(2) 今後取組予定の地域課題	13
(3) 地域課題解決に取り組む理由	14
7. 地域活性化とまちづくりに関する行政との連携の可能性について	15
8. 自由意見	16
(1) 基本目標別件数	16
(2) 主な意見（要旨）・キーワード	17
【参考資料】 アンケート調査票	19

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、第3期旭市総合戦略の策定にあたり、地方創生の更なる充実・強化に向け、市内事業所の皆さまの事業展開の現状や見通し、及び市政やまちづくりに対するお考えやご意見等を把握し、策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：旭市内に事業所（本社・支社・支店等）を置く法人
- 抽 出 方 法：調査対象より 500 社を無作為抽出
- 調 査 内 容：1. 基本属性
2. 経営動向（業況）
3. 経営課題
4. 行政に対する希望支援策
5. 人材確保・雇用維持・働き方改革への取組状況
6. 地域課題解決への取組状況
7. 地域活性化とまちづくりに関する行政との連携の可能性
- 調 査 期 間：令和5年（2023年）8月16日～9月4日
- 調 査 方 法：郵送配布・郵送回収
- 配 布 ・ 回 収：配布数 500 票
回収数 139 票
回収率 27.8%

3. 調査結果の見方について

調査結果の数値は、原則として回答率を構成比（％）として表記しており、小数点第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記しています。このため、単数回答の合計が100.0%とならない場合(99.9%、100.1%)があります。また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問<複数回答>では、一般的に回答率は100.0%を上回ります。

- ・ 本文やグラフ、数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化しています。
- ・ 本文中の「n」はその設問の有効回答数を示します。
- ・ 属性別分析結果において、構成比算出の母数(属性毎の回答者数)が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。

II. 調査結果

1. 基本属性

回答事業所の従業員数、業歴、業種等の属性は以下の通り。

図表 1 基本属性

		件数	構成比(%)
従業員数	10人未満	27	19.4
	10人以上20人未満	36	25.9
	20人以上50人未満	36	25.9
	50人以上100人未満	6	4.3
	100人以上	14	10.1
	無回答	20	14.4
業歴	10年未満	8	5.8
	10年以上30年未満	46	33.1
	30年以上50年未満	29	20.9
	50年以上	39	28.1
	無回答	17	12.2
本社所在地	当事業所が本社	104	74.8
	当事業所以外の旭市内	1	0.7
	千葉県内	16	11.5
	千葉県外	17	12.2
	無回答	1	0.7
業種	農林業	18	12.9
	漁業	0	0.0
	建設業	19	13.7
	製造業	28	20.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.4
	情報通信業	1	0.7
	運輸・郵便業	11	7.9
	卸売・小売業	23	16.5
	金融・保険業	4	2.9
	不動産・物品賃貸業	1	0.7
	学術研究・専門・技術サービス業	0	0.0
	宿泊業・飲食サービス業	5	3.6
	生活関連サービス業・娯楽業	2	1.4
	教育・学習支援業	0	0.0
	医療・福祉	10	7.2
	その他サービス業	21	15.1
	無回答	0	0.0

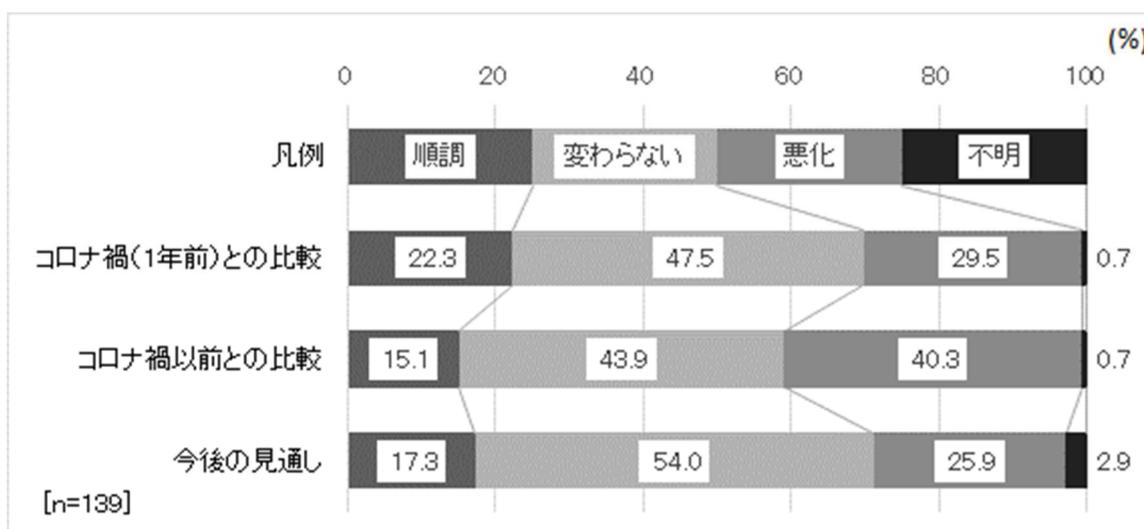
2. 経営動向（業況）について

【問1】貴事業所の経営動向（業況）についてお伺いします。（○は1つ）

経営動向（業況）について、コロナ禍前後と今後の見通しについてお聞きしたところ、「変わらない」が、コロナ禍（1年前）との比較（47.5%）、コロナ禍以前との比較（43.9%）、今後の見通し（54.0%）とも、それぞれ50%前後で最も高くなっています。

一方、「悪化」と「順調」については、いずれも「悪化」が「順調」を上回りました。特にコロナ禍以前との比較では、「悪化」が40.3%と「順調」（15.1%）を25.2ポイント上回っています。このような業況が、今後も「変わらない」との回答が54.0%と過半を占めており、およそ1/4（25.9%）が「悪化」するとなっています。

図表 2 経営動向（業況）



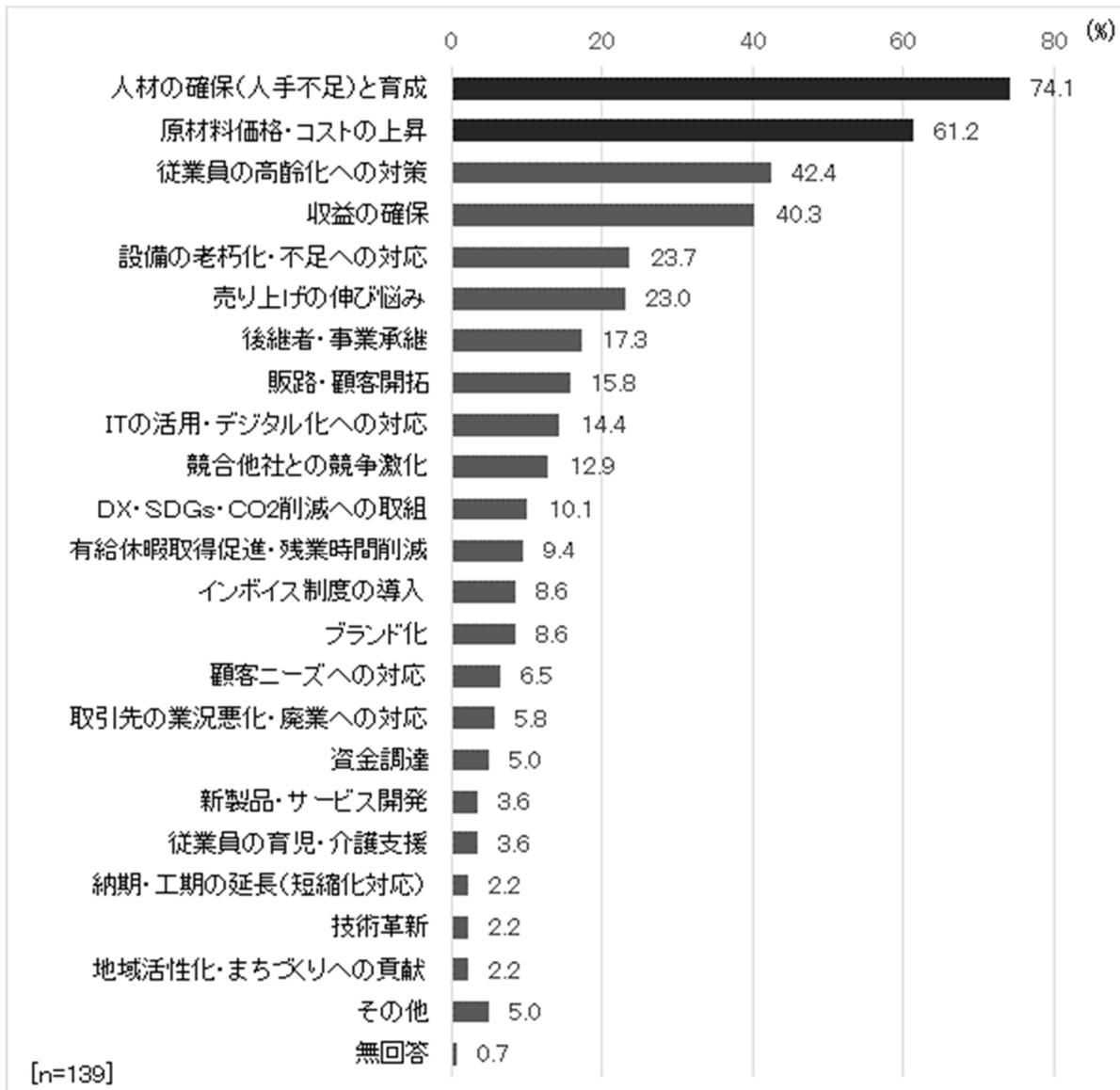
3. 経営課題について

【問2】貴事業所で課題と感じていることを教えてください。（複数回答可）

事業所で課題と感じていることについてお聞きしたところ、「人材の確保（人手不足）と育成」（74.1%）と「原材料価格・コストの上昇」（61.2%）の2項目が目立って高くなっています。次いで、「従業員の高齢化への対策」（42.4%）、「収益の確保」（40.3%）となっており、それぞれ上位2項目（人材確保・育成、コスト上昇）に関連しているものと推察されます。その他では、「設備の老朽化・不足への対応」が23.7%、「売り上げの伸び悩み」が23.0%と続いています。

その他（自由記入）では、「障がい福祉に関する対応」や「人件費の上昇」、「エネルギーコスト（電気代）の高騰」、「人手不足改善のための自動化設備投資」、「社会保険・雇用保険料率の引き上げ」などの意見が見られました。

図表 3 課題と感じていること



4. 行政に対して希望する支援策について

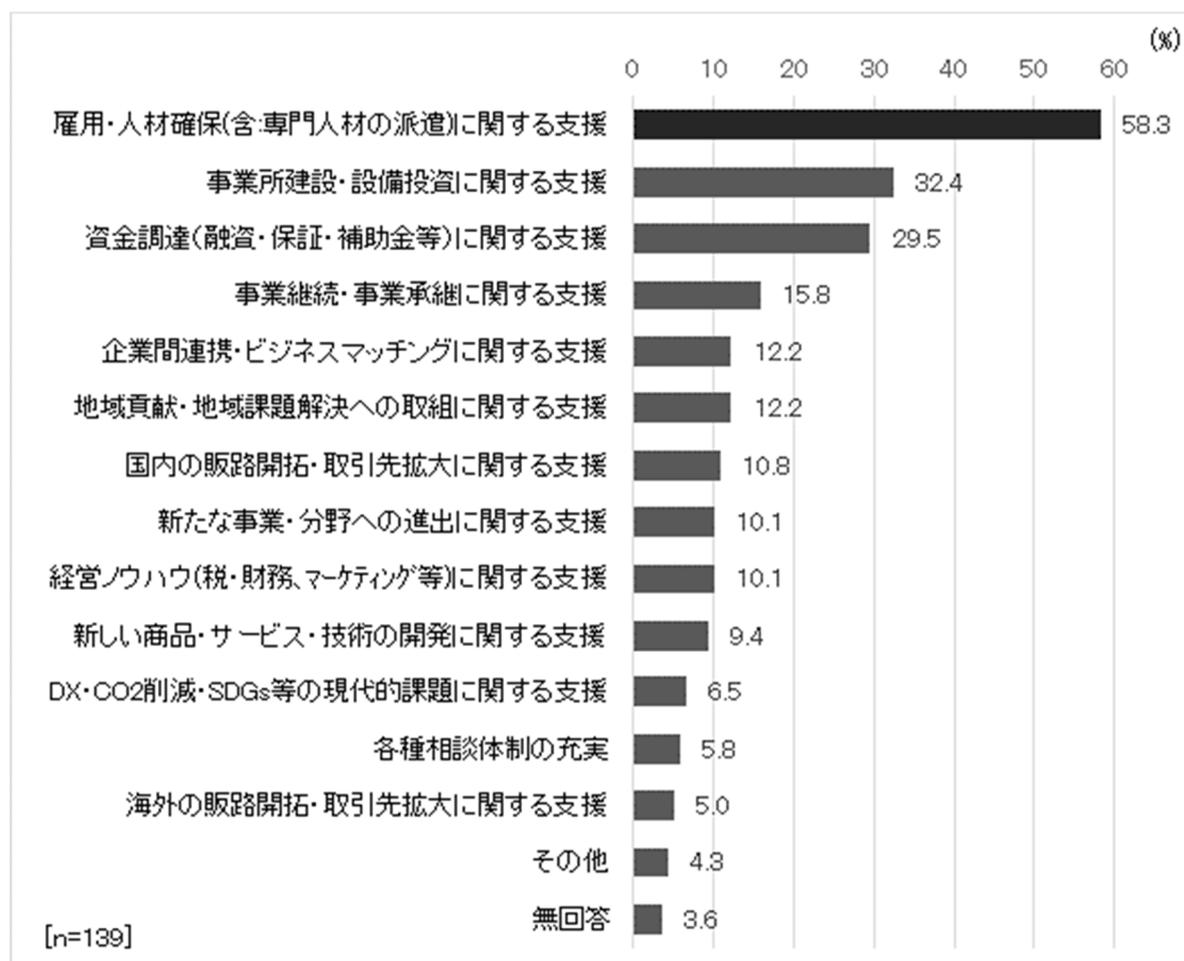
【問 3】貴事業所が事業を実施していく上で、行政に対して希望する支援策を教えてください。(〇は5つ以内)

行政に対して希望する支援についてお聞きしたところ、「雇用・人材確保（含：専門人材の派遣）に関する支援」が58.3%と目立って高くなっています。前項3の経営課題で最も高かった「人材の確保（人手不足）と育成」（74.1%）とも関連しています。

その他、「事業所建設・設備投資に関する支援」が32.4%、「資金調達（融資・保証・補助金等）に関する支援」（29.5%）と続いています。

その他（自由記入）では、「障がいのある人の自分らしい生活をサポートするための研修」や「従業員の兼任作業要件の緩和」、「減税・社会保険料率の引き下げ」、「扶養控除の拡大」、「デントコーンや稲発酵粗飼料生産への助成」などの意見が見られました。

図表 4 行政に対して希望する支援



5. 人材確保・雇用維持・働き方改革への取組状況について

(1) 人材育成・雇用維持や働き方改革のために取り組んでいる方策

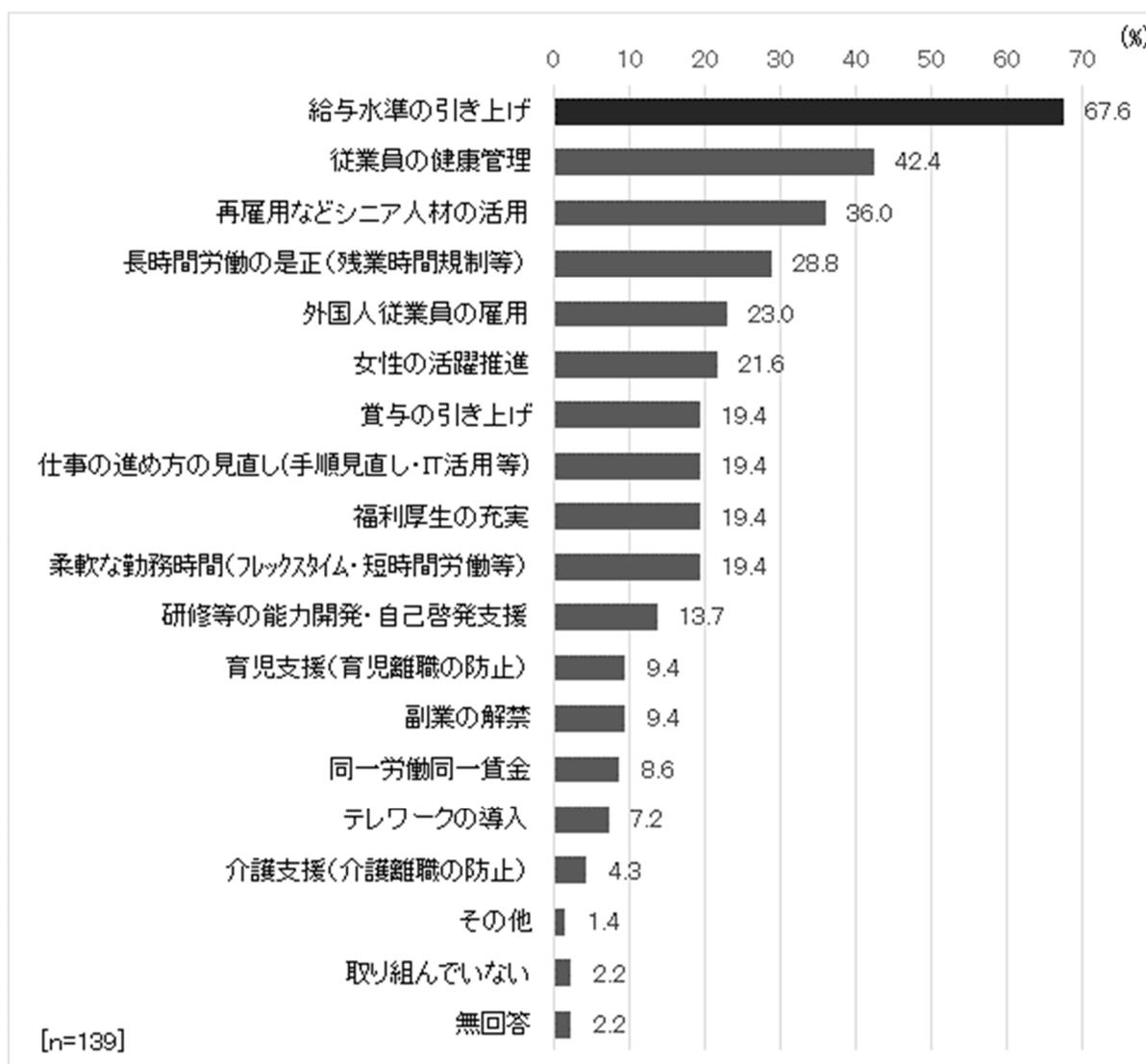
【問 4】人材確保・雇用維持や働き方改革のため、貴事業所で現在取り組んでいる方策がございましたら教えてください。（複数回答可）

人材確保・雇用維持・働き方改革への取組状況については、「給与水準の引き上げ」が67.6%で目立って高くなっています。次いで、「従業員の健康管理」が42.4%、「再雇用などシニア人材の活用」が36.0%、「長時間労働の是正（残業時間規制等）」が28.8%などとなっています。

一方、「取り組んでいない」事業所は2.2%でした。

その他（自由記入）としては、「介護支援」や「ハローワークとの共催による就職説明会の開催」などがありました。

図表 5 人材確保・雇用維持や働き方改革のために取り組んでいる方策

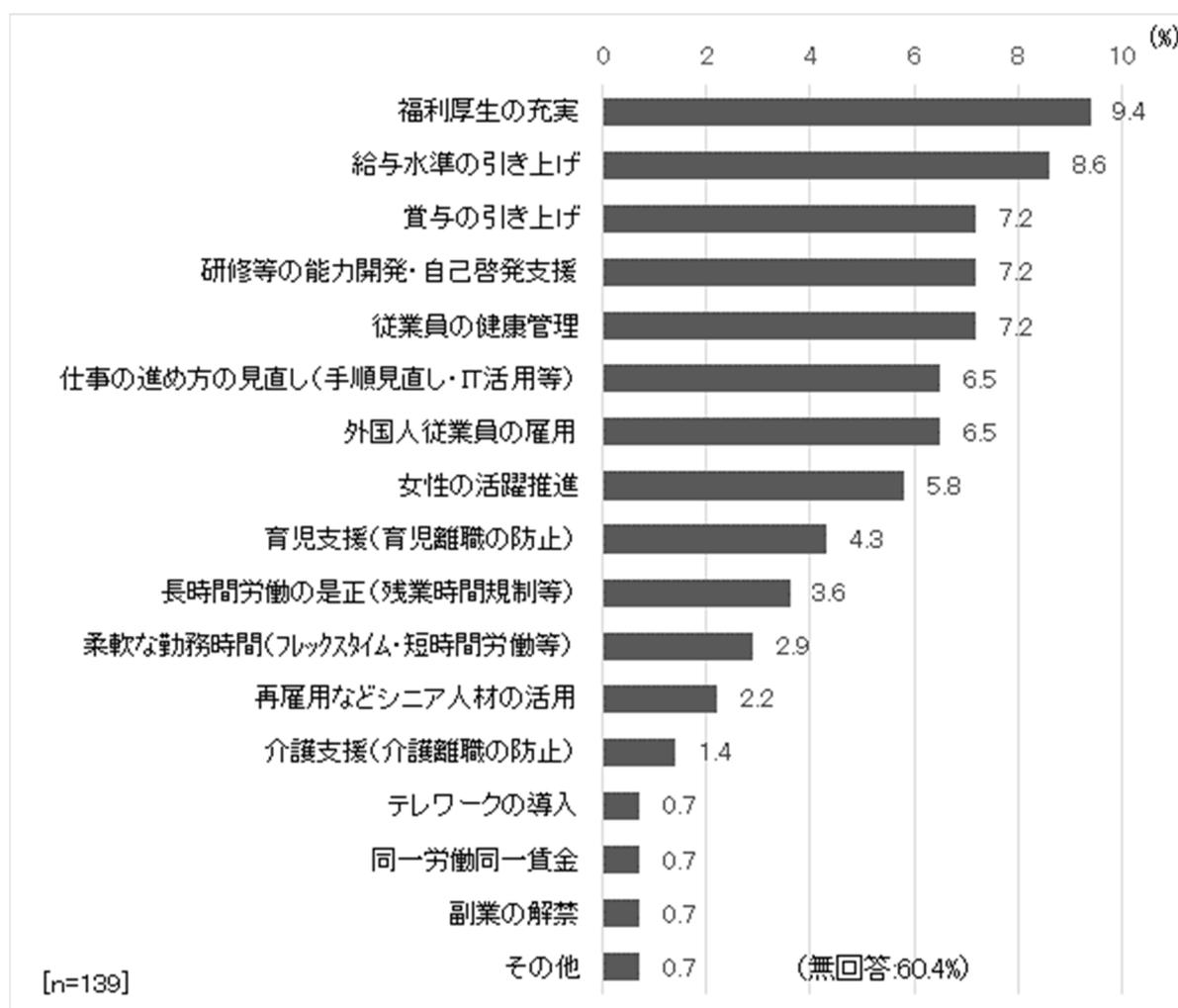


(2) 人材確保・雇用維持や働き方改革のために今後取り組みたい方策

【問 5】問 4 の選択肢の中で、現在は取り組んでいないが、今後、取組予定あるいは取組を検討したいものについて、該当する番号を下欄にご記入ください。(複数回答可)

人材確保・雇用維持や働き方改革のために今後取り組みたい方策について、前項(1)の選択肢の中で、現在は取り組んでいないが今後取り組みたい方策についてお聞きしたところ、55事業所から回答がありました(無回答84事業所・60.4%)。最も多かったのは「福利厚生充実」(9.4%)となっており、次いで「給与水準の引き上げ」(8.6%)、「賞与の引き上げ」と「研修等の能力開発・自己啓発支援」及び「従業員の健康管理」がともに7.2%となっています。

図表 6 人材確保・雇用維持や働き方改革のために今後取り組みたい方策



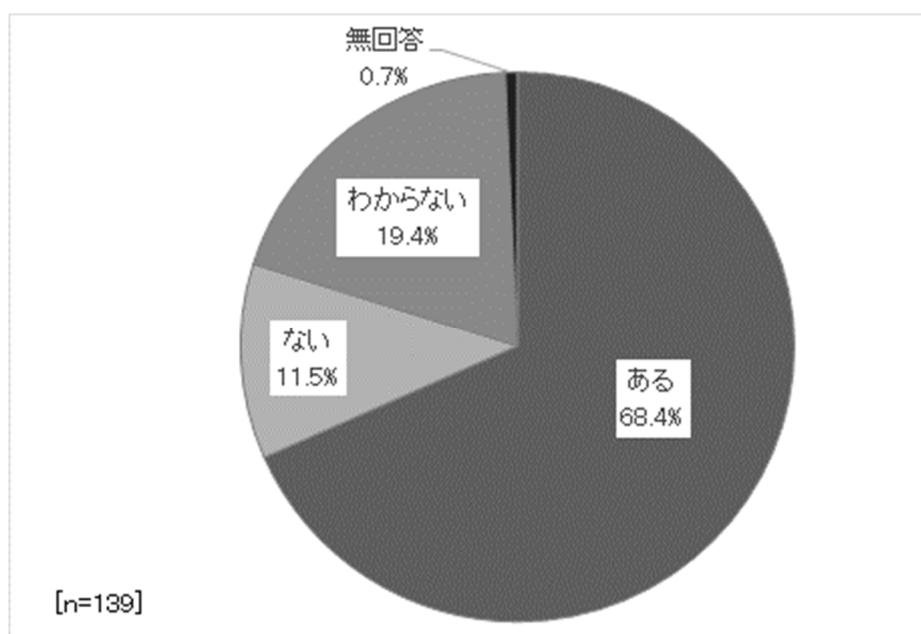
(3) 従業員の雇用を増やす予定・可能性

【問6】貴事業所では、今後（5年間程度）、従業員の雇用を増やす予定・可能性はありますか。（○は1つ）

今後5年間程度で、従業員の雇用を増やす予定・可能性についてお聞きしたところ、「ある」と答えた事業所が68.4%とおおよそ7割を占めました。「3.経営課題」でみたとおり、事業所で課題と感じていることでは「人材の確保（人手不足）と育成」（74.1%）が最も多く、この経営課題に対応しようとする姿勢が伺えます。

一方、「ない」は11.5%、「わからない」が19.4%でした。

図表 7 雇用を増やす予定・可能性

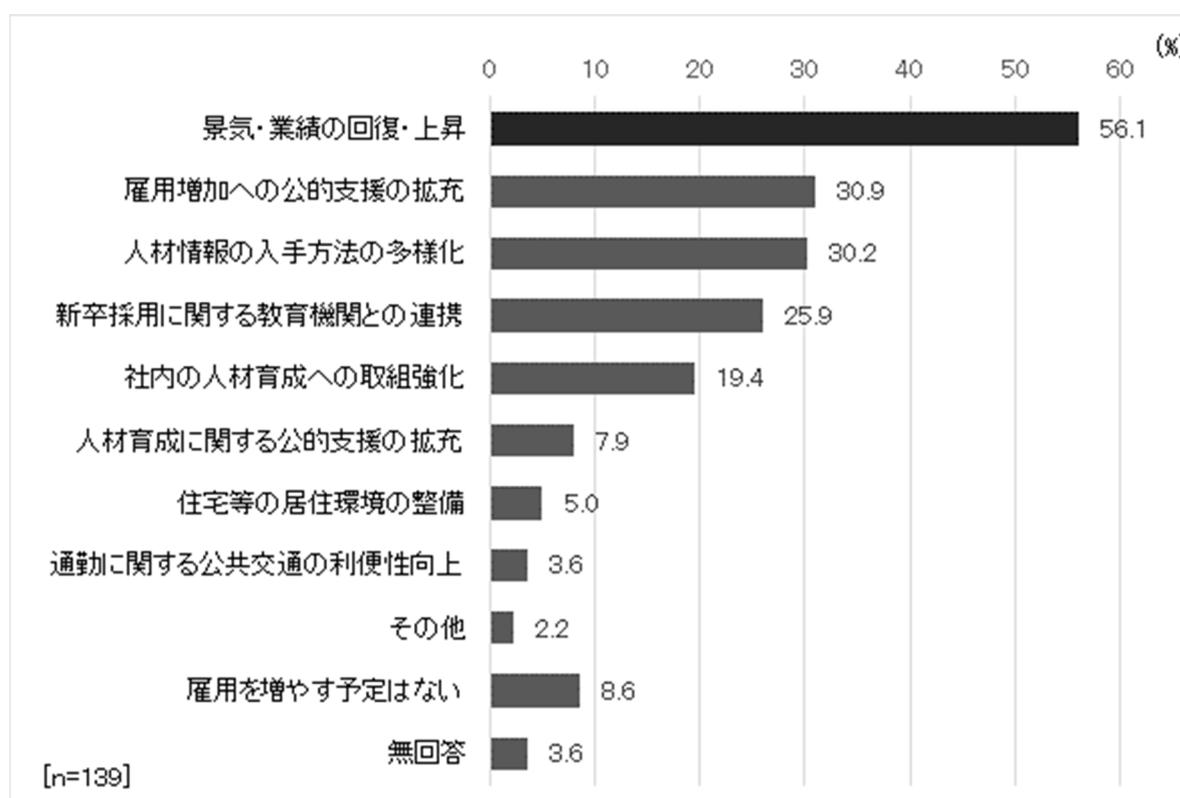


(4) 雇用を増やすために必要なこと

【問7】貴事業所で、今後、従業員の雇用を増やすために必要なこと（条件・環境・支援等）は何ですか。（○は3つ以内）

雇用を増やすために必要なことについては、「景気・業績の回復・上昇」が56.1%と目立って高くなっており、次いで「雇用増加への公的支援の拡充」が30.9%、「人材情報の入手方法の多様化」が30.2%、「新卒採用に関する教育機関との連携」が25.9%などとなっています。一方、「雇用を増やす予定はない」と回答した事業所も8.6%ありました。

図表 8 雇用を増やすために必要なこと



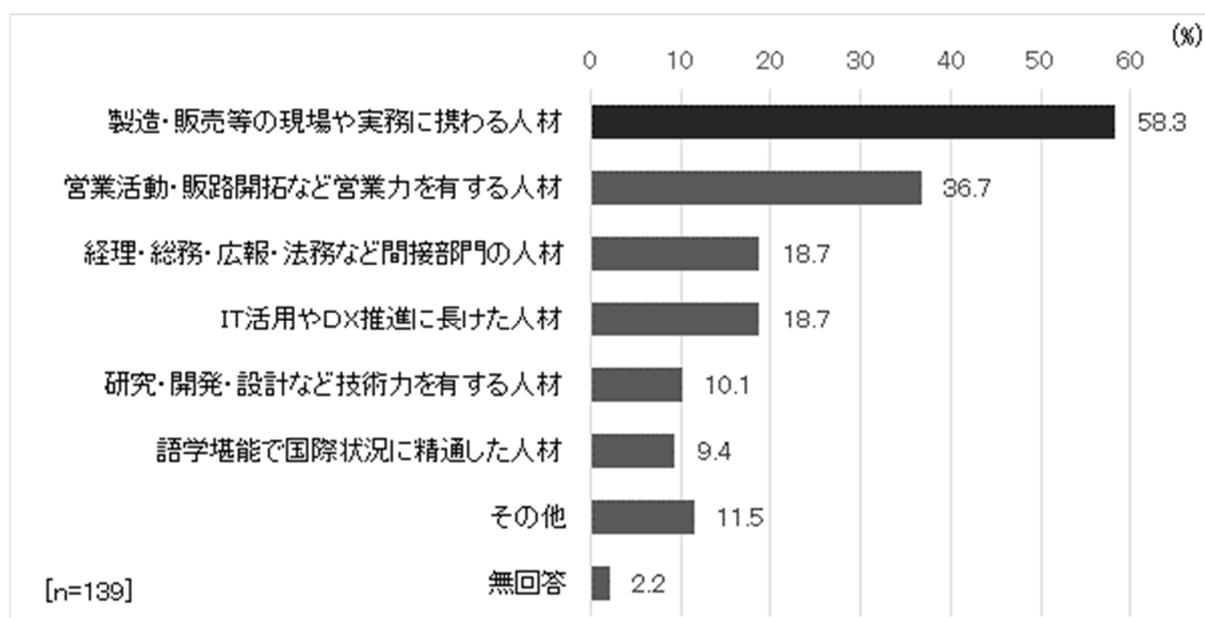
(5) 雇用を増やす場合に求める人材

【問 8】貴事業所で、今後、従業員の雇用を増やすと想定した場合、どのような人材を求めますか。(〇は3つ以内)

雇用を増やす場合に求める人材についてお聞きしたところ、「製造・販売等の現場や実務に携わる人材」が58.3%と目立って高く、次いで「営業活動・販路開拓など営業力を有する人材」が36.7%となっています。

その他（自由記入）としては、「大型ドライバー」や「電気工事士等の資格を有する技術者」、「医療・介護」、「作業現場等の実務に携わる人材」、「信頼できて事務全般ができる人」、「指導員としてレベルの高い人材」などがありました。

図表 9 雇用を増やす場合に求める人材

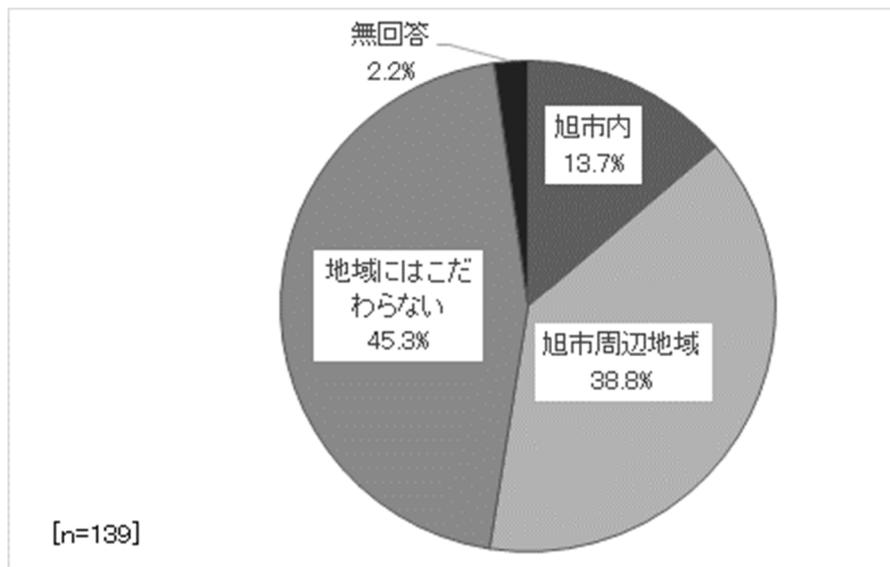


(6) 雇用したい地域

【問 9】 貴事業所で、今後、雇用を増やすと想定した場合、どのような地域から雇用したいと思いますか。(○は1つ)

雇用を増やす場合に雇用したい地域については、「旭市内」が13.7%、「旭市周辺地域」が38.8%、「地域にはこだわらない」が45.3%となっています。

図表 10 雇用したい地域



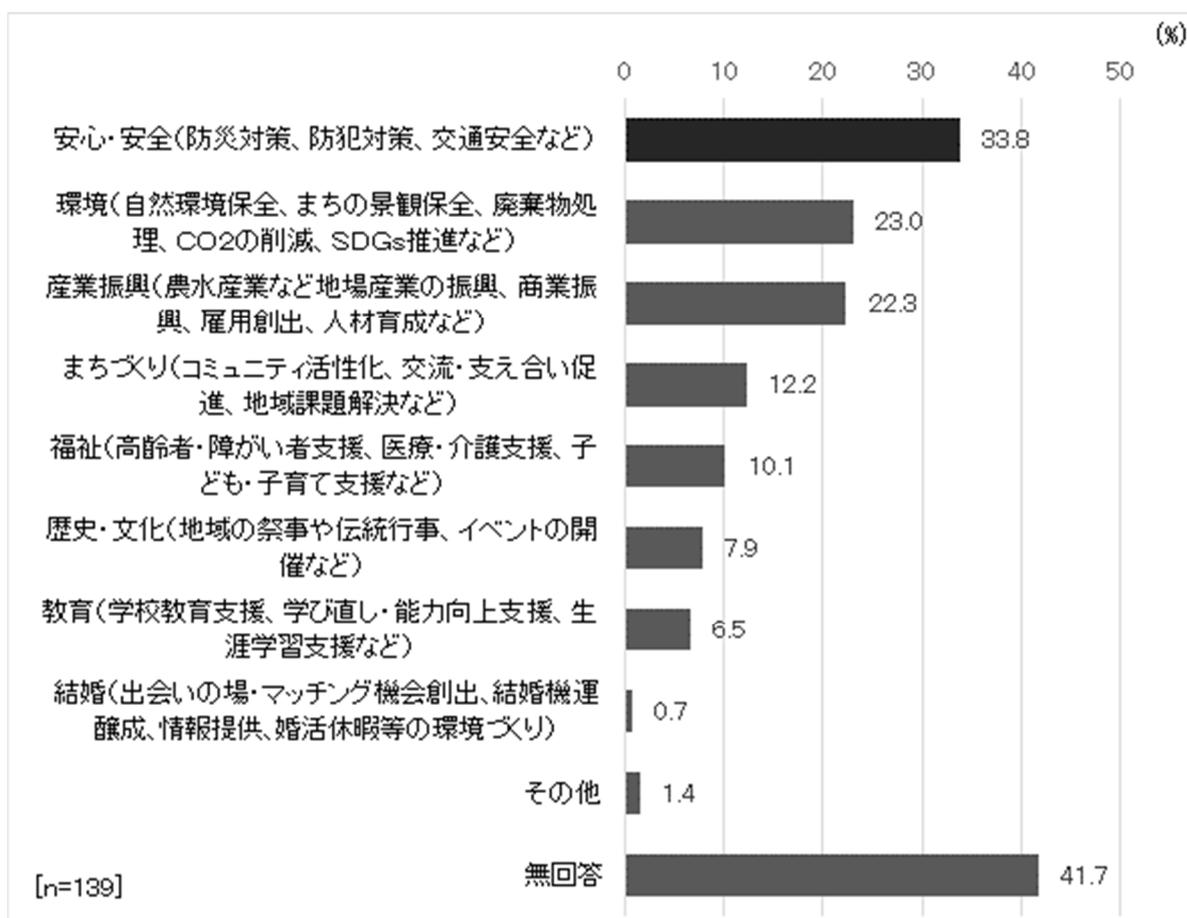
6. 地域課題解決への取組状況について

(1) 現在取り組んでいる地域課題

【問 10】貴事業所では、本来業務とは別に、地域課題の解決に何か取り組んでいますか（社員の取組や活動を含む）。「現在取組中」、または現在取り組んでいないが「今後取組予定」の該当欄に○印をご記入ください。今後取組予定のみの場合も該当欄にご記入ください。（複数回答可）

現在取り組んでいる地域課題についてお聞きしたところ、「安心・安全（防災対策、防犯対策、交通安全など）」が33.8%と最も高く、次いで「環境（自然環境保全、まちの景観保全、廃棄物処理、CO2の削減、SDGs推進など）」が23.0%、「産業振興（農水産業など地場産業の振興、商業振興、雇用創出、人材育成など）」が22.3%などとなっています。無回答は41.7%（58事業所）でした。

図表 11 現在取組中の地域課題

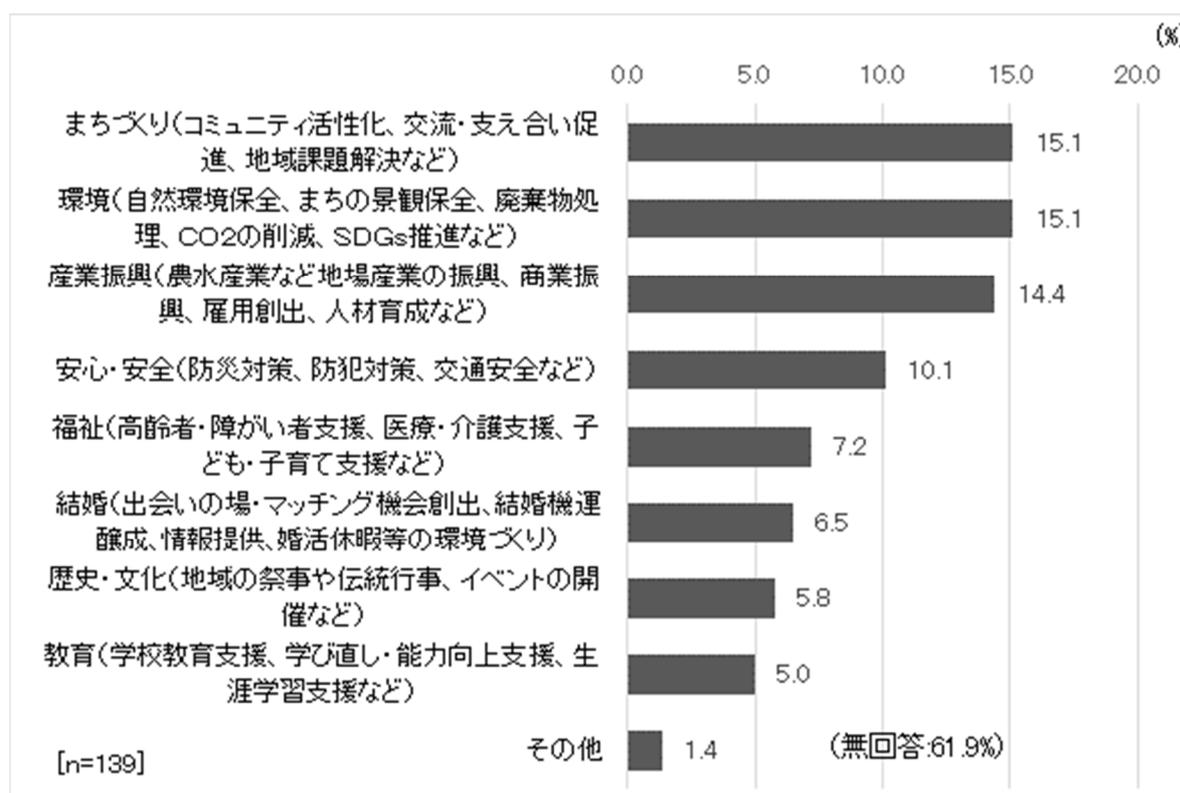


(2) 今後取組予定の地域課題

【問 10】 貴事業所では、本来業務とは別に、地域課題の解決に何か取り組んでいますか（社員の取組や活動を含む）。「現在取組中」、または現在取り組んでいないが「今後取組予定」の該当欄に○印をご記入ください。今後取組予定のみの場合も該当欄にご記入ください。（複数回答可）

現在取り組んでいないが今後取り組む予定の地域課題としては、「まちづくり（コミュニティ活性化、交流・支え合い促進、地域課題解決など）」と「環境（自然観保全、まちの景観保全、廃棄物処理、CO2の削減、SDGs推進など）」がともに 15.1%で最も高く、次いで「産業振興（農水産業など地場産業の振興、商業振興、雇用創出、人材育成など）」が 14.4%となっています。

図表 12 今後取組予定の地域課題

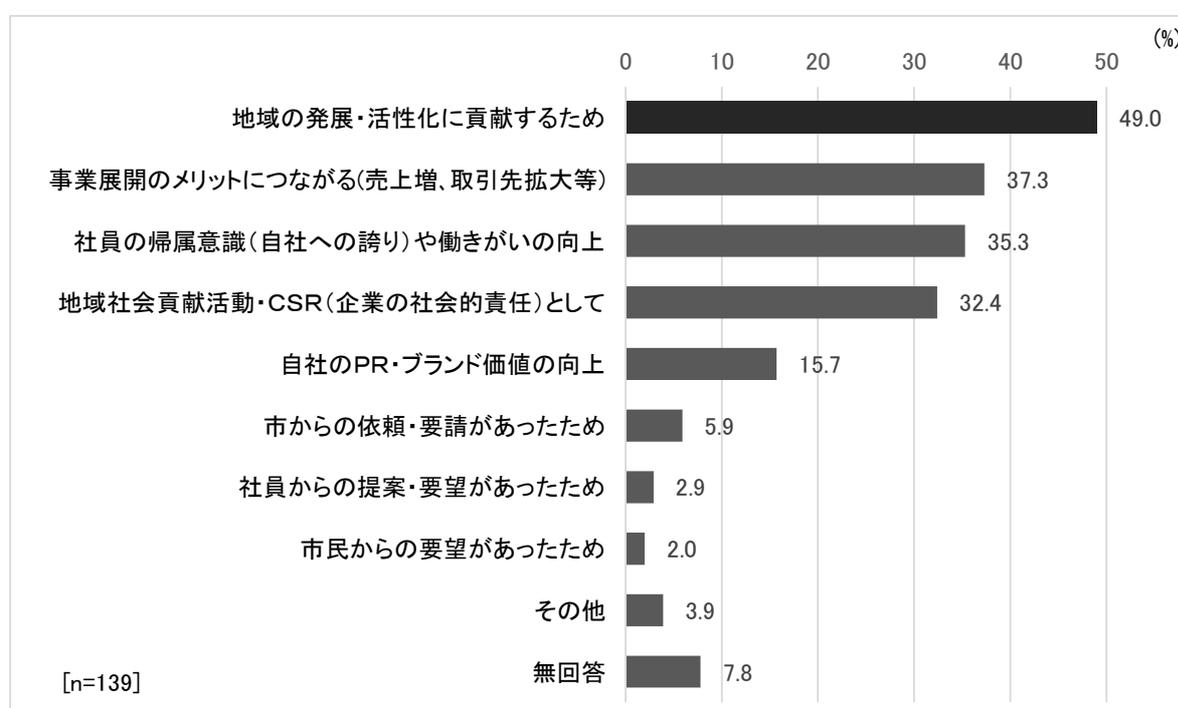


(3) 地域課題解決に取り組む理由

【問 11】 問 10 で「9」以外に○印をつけた方にお聞きします。貴事業所で地域課題の解決に取り組む（取り組もうとする）理由は何ですか。（○は3つ以内）

地域課題の解決に取り組む理由としては、「地域の発展・活性化に貢献するため」が49.0%と最も高く、次いで「事業展開のメリットにつながる（売上増・取引先拡大等）」が37.3%、「社員の帰属意識（自社への誇り）や働きがいの向上」が35.3%、「地域社会貢献活動・CSR（企業の社会的責任）として」が32.4%などとなっています。

図表 13 地域課題解決に取り組む理由

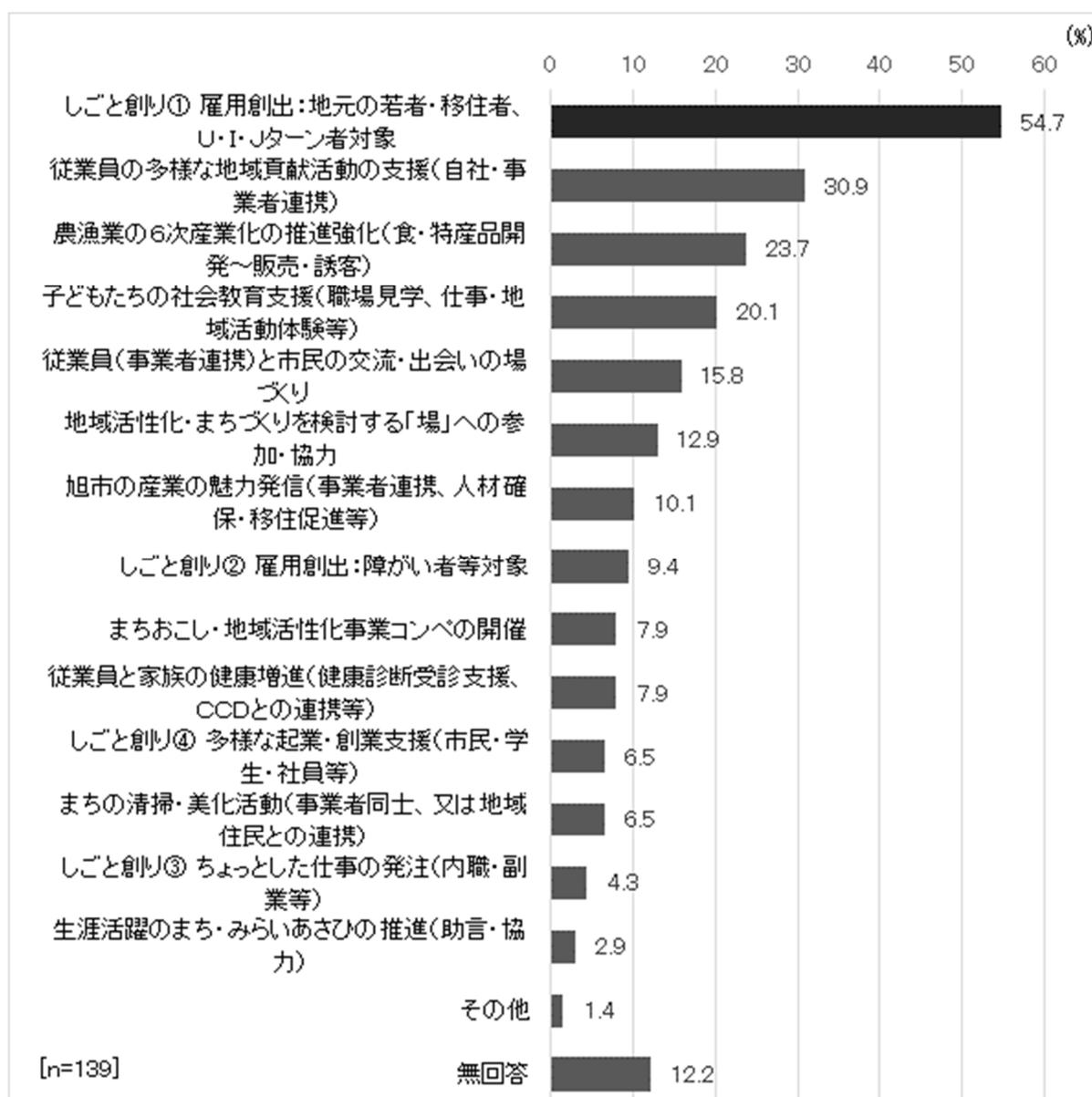


7. 地域活性化とまちづくりに関する行政との連携の可能性について

【問 12】旭市では、「総合戦略」に基づく地域の活性化とまちづくりについて、事業所の皆さまと連携（参加・協力、含：事業者同士の連携）を密にしながら推進したいと考えております。つきましては、次にお示しする取組方向・事例（1～15）について、特に「重要・取り組むべき」とお考えのものを教えてください。（複数回答可）。

行政と連携した地域活性化やまちづくりで「重要・取り組むべき」と考える方策についてお聞きしたところ、「しごと創り①雇用創出：地元の若者・移住者、U・I・Jターン者対象」が54.7%で目立って高い結果となりました。次いで「従業員の多様な地域貢献活動の支援（自社・事業者連携）」が30.9%、「農漁業の6次産業化の推進強化（食・特産品開発～販売・誘客）」が23.7%、「子どもたちの社会教育支援（職場見学、仕事・地域活動体験等）」が20.1%などとなっています。

図表 14 地域の活性化とまちづくりについて「重要・取り組むべき」と考えること



8. 自由意見

旭市のまちづくりについて、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 基本目標別件数

まちづくりについて、ご意見、ご要望を自由記述形式（回答者数 31 事業所）でたずねたところ、現行計画の基本目標 1 の「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり」に関するご意見が 11 件、基本目標 2 の「結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関するご意見が 4 件、基本目標 3 の「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関連するご意見が 8 件、基本目標 4 の「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり」に関するご意見が 5 件となっています。

図表 15 まちづくりについてのご意見 (FA)

基本目標	件数
1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり	11
2. 結婚・出産・子育ての希望がない、誰もが生きがいを持てるまちづくり	4
3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	8
4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり	5

(2) 主な意見（要旨）・キーワード

まちづくりに関するご意見(自由記入)の主な意見(要旨)・キーワードを、基本目標別・施策別に整理しました。

① 基本目標 1

基本目標 1「魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづく」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 農水産業の振興：6次産業化と廃校活用で食の体験施設を整備、6次産業化の取組への参加、農業のまちとしての知名度向上、食のPRなど。
- 商業の振興：中心市街地の活性化、銀座通り商店街の再開発など。
- 観光の振興：旭市七夕市民まつりの盛り上げ（踊りをまち全体で行い飛び入り参加も可能）、海上キャンプ場の活用、九十九里海岸のPR強化による観光客誘致など。
- 雇用の確保：合同企業説明会への参加、若者が地元に残れるよう仕事の確保と企業誘致、農水産業の振興など。

② 基本目標 2

基本目標 2「結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり」に関する主な意見(要旨)・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 保健・医療の充実：旭中央病院を中心としたまちづくり。
- 子育て支援の充実：子育て世代が住みやすいまちづくり、少子化対策・人口増加策の実行。
- 障害者福祉の充実：障害者福祉の推進（多職種連携に加え気軽に活用できる資源を増やす）、障害者福祉施設が少ない。
- 学校教育の充実：子どもたちの社会教育支援として職場見学への積極参加、子ども教育の多様化（オンライン、デジタル化、英語学習の強化）。

③ 基本目標3

基本目標3「ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 定住の促進：移住を促す特別な魅力ある取組の実施、地元愛の強い若者の活躍による移住者の呼び込み。
- 交流の促進：廃校や旧庁舎等の地域交流や農漁業・観光等への活用、子どもたちの動物とのふれあいや農漁業体験の推進など。
- 安全で快適な道路の整備：高速道路のインターチェンジ建設、自転車専用道路の整備。
- 安全・安心な水の供給：水道管老朽化への対応（土地造成や開発ができない、移住施策にも支障をきたす）。
- 自然環境の保全：環境やバイオマスエネルギーに焦点を当てた取組と施設整備（国内外の来訪者を誘致し賑わいを創出）
- 広報・広聴・情報公開の充実：市からのネットを活用した幅広い情報発信。

④ 基本目標4

基本目標4「将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心して暮らしやすいまちづくり」及び「その他」に関する主な意見（要旨）・キーワードは次のとおりです。

<主な意見（要旨）・キーワード>

- 公共交通網の整備：高齢者の移動手段の確保、工業団地・JR各駅・旭中央病院間の循環バスの運行。
- 人と組織の育成戦略：手続きの電子化推進、市町村合併による広域エリアでの対応。
- その他（全体）：地域の皆さまへの貢献、売上回復後に市との連携を模索。

旭市内事業所 総務ご担当者 様

旭市の未来のために 「事業所アンケート」へのご協力をお願いします

市内事業所の皆さまには、日ごろから市政にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

旭市は、令和2年度に「第2期旭市総合戦略」を策定し、「ず〜っと大好きなまち旭」の実現に向け、人口減少対策、地域経済の活性化に取り組んでいます。この計画が令和6年度に最終年度となることから、地方創生の更なる充実・強化に向け、切れ目なく取り組みを進めるため、「第3期旭市総合戦略」(令和7年度～令和11年度)を策定します。

策定にあたっては、事業所の皆さまと行政との「協働」、「共創」(パートナーとして理想のまちを共に創ること)がとても重要になってきます。

つきましては、皆さまのお考えやご助言をお聞かせいただきたく、別紙のとおり、アンケートへのご協力をお願いする次第です。

なお、回答結果はすべて統計的に処理し、上記目的のみに使用し、個社別(個社名つき)の回答内容が公表されることはございません。

ご多忙中誠に恐縮でございますが、趣旨をご理解の上、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年8月

旭市長 米本 弥一郎

○ 記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れて9月4日(月)までにご投函ください。

【お問い合わせ先】

旭市役所 企画政策課 (担当者：高木)

電話：0479-62-5307

旭市・第3期総合戦略策定に関する市内事業所意識調査

◆貴事業所及びご回答者様についてご記入（または○印をお付け）ください。

事業所					
所在地					
TEL	()	FAX	()		
ご回答者様	(所属部署・役職)			(氏名)	
	E-mail				
従業員数	人	内 訳	●男性_____人・女性_____人		業歴
			●正社員_____人 ●旭市在住_____人		年
			●30歳未満_____人 ●65歳以上_____人		
本社所在地	1. 当事業所が本社 3. 千葉県内 () 2. 当事業以外の旭市内 4. 千葉県外 ()				
業種	1. 農林業 9. 金融・保険業 2. 漁業 10. 不動産・物品賃貸業 3. 建設業 11. 学術研究・専門・技術サービス業 4. 製造業 12. 宿泊業・飲食サービス業 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 13. 生活関連サービス業・娯楽業 6. 情報通信業 14. 教育・学習支援業 7. 運輸・郵便業 15. 医療・福祉 8. 卸売・小売業 16. その他サービス業				

【問1】 貴事業所の経営動向（業況）についてお伺いします。(○は1つ)

コロナ禍（1年前）との比較	1. 順調	2. 変わらない	3. 悪化
コロナ禍以前（2019年）との比較	1. 順調	2. 変わらない	3. 悪化
今後の見通し	1. 順調	2. 変わらない	3. 悪化

【問2】 貴事業所で課題と感じていることを教えてください。（複数回答可）

- | | |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1. 売り上げの伸び悩み | 12. ブランド化 |
| 2. 収益の確保 | 13. 取引先の業況悪化・廃業への対応 |
| 3. 競合他社との競争激化 | 14. 設備の老朽化・不足への対応 |
| 4. 原材料価格・コストの上昇 | 15. 人材の確保（人手不足）と育成 |
| 5. 資金調達 | 16. 後継者・事業承継 |
| 6. 顧客ニーズへの対応 | 17. 従業員の高齢化への対策 |
| 7. 納期・工期の延長（短縮化対応） | 18. 有給休暇取得促進・残業時間削減 |
| 8. インボイス制度の導入 | 19. 従業員の育児・介護支援 |
| 9. 技術革新 | 20. ITの活用・デジタル化への対応 |
| 10. 新製品・サービス開発 | 21. DX※・SDGs・CO ₂ 削減への取組 |
| 11. 販路・顧客開拓 | 22. 地域活性化・まちづくりへの貢献 |
| 23. その他（ | ） |

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、企業活動や組織文化、社会制度なども変革していくような取組。

【問3】 貴事業所が事業を実施していく上で、行政に対して希望する支援策を教えてください。（○は5つ以内）

- | | |
|---|---|
| 1. 新たな事業・分野への進出に関する支援 | |
| 2. 新しい商品・サービス・技術の開発に関する支援 | |
| 3. 資金調達（融資・保証・補助金等）に関する支援 | |
| 4. 事業所建設・設備投資に関する支援 | |
| 5. 国内の販路開拓・取引先拡大に関する支援 | |
| 6. 海外の販路開拓・取引先拡大に関する支援 | |
| 7. 企業間連携・ビジネスマッチングに関する支援 | |
| 8. 事業継続・事業承継に関する支援 | |
| 9. 経営ノウハウ（財務・税務、マーケティング、人材育成等）に関する支援 | |
| 10. 雇用・人材確保（含：専門人材の派遣）に関する支援 | |
| 11. DXやCO ₂ 削減、SDGs等の現代的課題に関する支援 | |
| 12. 地域貢献・地域課題解決への取組に関する支援 | |
| 13. 各種相談体制の充実 | |
| 14. その他（ | ） |

【問4】 人材確保・雇用維持や働き方改革※のため、貴事業所で現在取り組んでいる方策がございましたら教えてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 給与水準の引き上げ | 9. 介護支援（介護離職の防止） |
| 2. 賞与の引き上げ | 10. 外国人従業員の雇用 |
| 3. 長時間労働の是正（残業時間規制等） | 11. 研修等の能力開発・自己啓発支援 |
| 4. 再雇用などシニア人材の活用 | 12. テレワークの導入 |
| 5. 仕事の進め方の見直し
（手順見直し・IT活用等） | 13. 柔軟な勤務時間
（フレックスタイム・短時間労働等） |
| 6. 女性の活躍推進 | 14. 同一労働同一賃金 |
| 7. 育児支援（育児離職の防止） | 15. 従業員の健康管理 |
| 8. 福利厚生の実充 | 16. 副業の解禁 |
| 17. その他（ | ） |
| 18. 取り組んでいない | |

※働き方改革：働く方々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で「選択」でき、一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにするための改革。改革を総合的に推進するため、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保等のための措置を講じる。(厚生労働省)

【問5】 問4の選択肢の中で、現在は取り組んでいないが、今後、取組予定あるいは取組を検討したいものについて、該当する番号を下欄にご記入ください。(複数回答可)

--

【問6】 貴事業所では、今後（5年間程度）、従業員の雇用を増やす予定・可能性はありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

【問7】 貴事業所で、今後、従業員の雇用を増やすために必要なこと（条件・環境・支援等）は何ですか。(○は3つ以内)

1. 景気・業績の回復・上昇	6. 新卒採用に関する教育機関との連携	
2. 人材情報の入手方法の多様化	7. 住宅等の居住環境の整備	
3. 雇用増加への公的支援の拡充	8. 通勤に関する公共交通の利便性向上	
4. 社内の人材育成への取組強化	9. その他（	）
5. 人材育成に関する公的支援の拡充	10. 雇用を増やす予定はない	

【問8】 貴事業所で、今後、雇用を増やすと想定した場合、どのような人材を求めますか。(〇は3つ以内)

- | |
|---|
| 1. 製造・販売等の現場や実務に携わる人材
2. 営業活動・販路開拓など営業力を有する人材
3. 研究・開発・設計など技術力を有する人材
4. 経理・総務・広報・法務など間接部門に関わる人材
5. IT活用やDX推進に長けた人材
6. 語学堪能で国際状況に精通した人材
7. その他求める人材像 () |
|---|

【問9】 貴事業所で、今後、雇用を増やすと想定した場合、どのような地域から雇用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 旭市内 2. 旭市周辺地域 3. 地域にはこだわらない |
|--|

【問10】 貴事業所では本来業務とは別に、**地域課題の解決**に何か取り組んでいますか(社員の取組や活動を含む)。「現在取組中」、または現在取り組んでいないが「今後取組予定」の該当欄に〇印をご記入ください。今後取組予定のみの場合も該当欄にご記入ください。(複数回答可)

地域課題	現在取組中	今後取組予定
1. まちづくり(コミュニティ活性化、交流・支え合い促進、地域課題解決など)		
2. 産業振興(農水産業など地場産業の振興、商業振興、雇用創出、人材育成など)		
3. 安心・安全(防災対策、防犯対策、交通安全など)		
4. 結婚(出会いの場・マッチング機会の創出、結婚に向けた機運の醸成や情報提供、婚活休暇等の環境づくりなど)		
5. 福祉(高齢者・障がい者支援、医療・介護支援、子ども・子育て支援など)		
6. 教育(学校教育支援、学び直し・能力向上支援、生涯学習支援など)		
7. 歴史・文化(地域の祭事や伝統行事、イベントの開催など)		
8. 環境(自然環境保全、まちの景観保全、廃棄物処理、CO ² の削減、SDGs推進など)		
9. その他 ()		
10. 取り組んでいない(今後も取り組む予定はない) ⇒右欄に〇		

※**6次産業化**：農畜産物・水産物の生産（1次産業）と、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業/含：観光関連産業）を、総合的かつ一体的に推進することで新たな付加価値を生み出し、農漁村のみならず地域全体を活性化させる取組。

※**CCD**：旭市CCD（Cities Changing Diabetes）プロジェクト
世界有数のヘルスケア企業であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社が、「糖尿病の克服」を目指し、都市における糖尿病増加抑制に取り組むプログラムで、旭市は「自然に健康になれるまち」を目指して、同社と旭市及び千葉大学医学部附属病院が協定を締結し、糖尿病の発症抑制と重症化予防のための活動及び共同研究を進めています。

※**生涯活躍のまち・みらいあさひ**：生涯活躍のまち・みらいあさひは、イオンタウン旭エリアと旭中央病院を核に、元気な高齢者を中心とする都市住民の誘致と若年世代の流出抑制・流入促進、及び仕事づくりを実現させ、市全体の活性化につなげるための「新しいまちづくり」です。

○詳細はホームページ「生涯活躍のまち みらいあさひ」でご確認ください。
（URL） <https://www.miraiasahi.jp>

◆最後に旭市のまちづくりについて、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

第3期旭市総合戦略策定のための
事業者アンケート調査
調査結果報告書

令和5年10月
旭市